

305) ゴールデンウィーク

もう今となっては昔々の話で、クレジットカードなどもほとんど使えなかった頃のお話であります。当時の銀行は土曜日は午前中しか営業しておりませんでした。ゴールデンウィークに入った最初の土曜日、手持ち資金が底をついていることに気づいた。そうだ昨日は夜明けまで飲んだくれていて、お金を使い果たしてしまったんだ。銀行でお金を下ろしておかないとやばいぞ。それにしてももう11時45分じゃないか。すぐに行かないと間に合わない。15階のマンションの部屋から外を見ると、向こうに第一勧銀のハートのマークが見える。あそこに行って5万円ばかり下ろして来よう。私はサンダルを突っかけると早足で歩き始めた。ところがいくら歩いてもなかなかそこに着かない。途中から一目散に走り始めたがサンダルではなかなか思うように行かない。どうやら高いところから見た場所は、うんと近くに見えるらしい。12時数分前、やっどのおもいで辿り着くと、そこにはキャッシュコーナーはなかった。そこは勧銀の独身寮で、銀行ではなかったからだ。万事休す。それにしてもなんたる不運。連休中お金の極めて不自由したことは言うまでもありません。しかしおかげでお金を使わずに済んでしまった。それはそれでありがたかったのでありました。